

BRAD DAVIS-FRANCO NERO-JEANNE MOREAU
IN

誰もが自分の愛するものをだめにする。

ファスビンダーの
ケレル

原作・ジャン・ジュネ「プレストの乱農者」
脚本・監督・ライナー・ヴェルナー・ファスビンダー
美術・ロルフ・ツェーエトパウアー
製作・ブラネット・フィルム（西独）/アルバトロス・プロ（西独）、ゴモン（仏）
出演・ケレル＝ブラッド・デーヴィス リジアヌ＝ジャンヌ・モロー
ノ＝ギュンター・カウフマン セブロン＝フランコ・ネロ
ロベール・ジル＝ハンノ・ベッシュェル ローガー＝ローラン・マレ
配給・人力飛行機舎 テラコーポレーション

RAINER WERNER FASSBINDER

QUERELLE

●ジャンヌ・モローが歌う 主題歌"誰もが自分の 愛するものをだめにする"

ジャンヌ・モロー演ずる売春宿の女主人は、
オウム返しにかの有名なオスカー・ワイルド、
アルフレッド・ヒッチコックの科白を歌う。

「誰もが自分の愛するものをだめにする」ワ
イルドが監獄の中で書いたこの科白が、この
映画の究極の実体を言いあてているようだ。

●原作はジャン・ジュネ の「プレストの乱暴者」

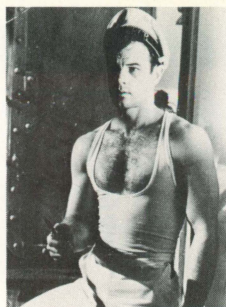
ジャン・ジュネ(1910~1986)ほど、世の驚
愕と憤激をかった20世紀の作家はいないだろ
う。1937年から1943年の間に、彼は13回も有
罪判決を受け、5ヶ国から国外追放を申しわ
たされている。1948年に終身禁固刑になると
ころを、サルトル、コクトー、ピカソの嘆願
により、大統領特赦を受けて出獄できた。サ
ルトルは1952年のジュネ論においてジュネを
聖人とまで崇めている。

ジュネの4番目の小説「プレストの乱暴者」
は、第2次世界大戦直後に書かれたものであ
る。ホモセクシュアル、殺人、裏切り、死の
願望などが主要モチーフである。この小説は、
ジュネの最初のドイツ語訳として、1955年に
出版されたが、発禁処分され、1966年に再出
版される際には、この本を購入する者は、次
の義務を負わねばならなかった。「鍵をかけ
て保管すること、青少年に見せないこと、個
人的にも営業的にも他人に貸さないこと」。



●オスカー賞受賞者 ロルフ・ツェエトバウアー の華麗なる美術!!

この映画は終始スタジオ内で撮影されている。
1972年「キャバレー」でオスカー賞受賞に輝
くロルフ・ツェエトバウアーは、超現実的
な港町風景をスタジオ内につくりあげ、人工
的に疎外された雰囲気創造した。心憎いま
での照明と共に創り出されたこの空間を駆使
して、ファスビンダー監督は、出来事の主観
性に入り組んだ複雑さを、決して沈むことの
ない夕陽の中で明確に理解しやすく、提示す
ることに成功している。



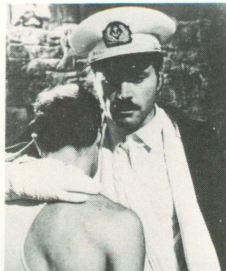
●「リリー・マルレーン」の ファスビンダー監督の遺作

〈ニュー・ジャーマン・シネマ〉の若き旗手
として、V・シュレンドルフ、ヴィム・ヴェン
ダースらと共に西ドイツ映画の質の高さを世
界に知らしめたライナー・ヴェルナー・ファ
スビンダー監督は1946年3月31日生まれ。ギ
ムナジウムを卒業後、ミュンヘンの私立俳優
学校に学び、ここで知り合った女優ハンナ・
シグラと共に「アクチオン・テアター(行動
劇場)」に入団。その後'68年に、10人の同
志を率いて「アンチ・テアター(反劇場)」
を結成。映画監督としてのデビュー作は'69
年の「愛は死よりも冷めたい」。2作目の「出
かせぎ外人」で数々の映画賞を受けるに及び
一躍有名になった、映画以外にも、演劇、放
送劇、テレビ映画などをエネルギーに制
作し、その多作ぶりは「煙草を吸うような早
撮り」と評される。私生活でも話題に事欠か
ず、ハンナ・シグラとの愛人関係の最中に、
ホモ宣言をしてまわりをアツと言わせた。

「ヴェロニカ・フォスのあこがれ」はベルリ
ン映画祭金賞受賞。「マリア・ブラウンの結
婚」「リリー・マルレーン」「自由の代償」「季
節を売る男」等が日本で公開されている。
1982年6月10日、36歳にして急逝。
この「ケレル」が遺作となる。

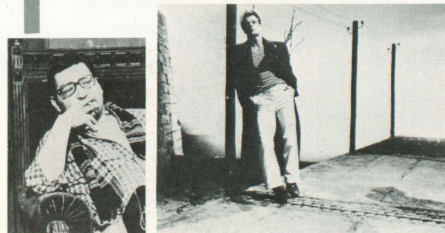
●アクション俳優の フランコ・ネロが……

「続・夕陽のガンマン」等のかつてのマカロニ・
ウェスタンのスターが、この映画の狂言廻し
として登場。遠くから始終ケレルを見つめ恋
する上官セブロンを中年男の哀愁ただよわせ
魅力的に演じている。



●「ミッドナイト・エク スプレス」のブラッド ・デーヴィスがケレル

テレビ映画「ルーツ」で登場し、1978年にアラ
ン・ソバカー監督の「ミッドナイト・エクス
プレス」で全世界から注目される。その後、「炎
のランナー」等にも出演している。近頃では
NHKで放映されたテレビ映画「警察署長」で
の演技が話題になっている。



●セーラー服ってのは いつも色っぽい!!

大きな赤いボンボリのついた白いセーラー帽
をかぶったケレル(ブラッド・デーヴィス)
が、とても色っぽい。裸もいいけど、男の着
るセーラー服ってのも、色っぽいのだ。
セーラー服が女子学生だけのものではないこ
とに改めて注目せざるを得なくなってしまう
映画なのである。



●あらすじ

駆逐艦「復讐号」がプレスト港に入港したところから、
始まる。淋しい北の海、夕陽にそまつた波止場、城壁の
上の淫売宿「ラ・フェリア」が舞台だ。艦上では上官の
セブロンが、若くたくましいケレルの肉体を慕い、淫売
宿の主人ノノと女主人リリアヌもケレルの美しさに魅せ
られてしまう。悪の天使ケレルはここで性と暴力の快楽
を覚える。中間のヴィックと組んで、麻薬密輸をノノと
その相棒マリオの手引きで成功させるが、ケレルは口封
じの為、ヴィックを殺す。女主人リリアヌのヒモになっ
ているケレルの兄ロバールそっくりの建設労働者ジルは、
若いローガーに恋していたが、ケレルの策略により、ウ
ィック殺しの犯人として逮捕される。悪とエロスと死の
破壊的なカレイドスコープ。破壊への誘惑。全てが、い
つまでも沈まぬ夕陽に照らされたまま、艦はケレルとセ
ブロンを乗せて錨をあげることになる……。

ファスビンダーのケレル ●原題「QUERELLE」 1982年度作品 / 独仏合作 / テクニカラー35ミリ / シネマスコープ / ドルビー・ステレオ / 上映時間108分 / フランス語版 / 日本語字幕 / 配給=人力飛行機舎 / テラ・コーポレーション

'88年3月より待望のロードショー

特別鑑賞券¥1,200円 発売中
(当日¥1,500円 均一の処)

シネマスクエア
とうきゅう

新宿ミラノ座横3F ☎232-9274

全自由席定員制 ●入替制

※満席および上映中の入場はできません。

連日 12:00 2:20 4:40 7:00

毎金・土曜はレイトショー実施 / PM9:10